

質 問 回 答 書

平成 26 年 1 月 20 日

「ベトナム国ハノイ市における UMRT の建設と一体となった都市開発整備計画調査の実施支援プロジェクト【有償勘定技術支援】」

(公示日 : 平成 25 年 12 月 18 日 公示番号 : 1) について、業務指示書に対する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第2 > 7 . 業務の内容 > 【フェーズII】	「フェーズIIの開始より3ヶ月間に、JICAに開始時期について確認すること」とあるが、日本語が不明瞭。「フェーズIの開始から3か月後に、」なのか、「フェーズIIの開始予定より3ヶ月前に、」なのか、それとも他の意味か。	「フェーズ II の開始予定より3ヶ月前に」です。
2	第2 > 7 . 業務の内容 > 【フェーズII】 > (5) 優先駅の設定 及び 第2 > 7 . 業務の内容 > 【フェーズII】 > (9) フェーズIで確認された優先駅におけるアクセス改善のための駅前公共施設整備に係るフィージビリティスタディ(FS)作成 > 8) 環境社会影響に対する配慮	(5)で「用地取得が必要でないこと」、また(9)の8)で「FS 対象駅で用地取得・住民移転が発生する計画となる見込みの場合は、速やかに JICA に報告し、FS 対象としないこととする。」と示されているが、公用地であっても、土地使用权を所有する組織や用途が異なれば、用地取得の手続きが想定されるため、「用地取得が必要でない」は絶対条件にはなりえないと思料する。そのため、「用地取得」の意味として、民間企業や一般市民が土地使用权を有している土地など、用地確保の手続きが困難な区域をできる限り避ける、という理解でよいか。	「民間企業や一般市民の土地使用权を取得するのを避けること」とご理解下さい。

3	第2>7.業務の内容>【フェーズII】>(9)フェーズIで確認された優先駅におけるアクセス改善のための駅前公共施設整備に係るフィージビリティスタディ(FS)作成>8)環境社会影響に対する配慮	「IEEレベルの環境社会配慮調査を行う」とあるが、再委託調査で実施支援を行う、という理解でよいか。	再委託調査で実施支援を行う、とご理解ください。
4	第2>7.業務の内容>【フェーズII】>(10)プレゼンテーション用の動画の作成	「動画作成」は再委託調査での実施を認められるか。また、これは「8.成果品等」にある「6)広報用の動画」と同一と理解してよいか。また、「ナレーションはベトナムで行い」とあるが、「ベトナム語で」と理解してよいか。	「動画作成」について、再委託調査での実施が効率的だとお考えの場合はそのようにご提案下さい。「広報用の動画」と同一です。「ナレーションはベトナム語で」と修正致します。
5	第2>7.業務の内容>【フェーズII】>(10)プレゼンテーション用の動画の作成及び 第2>8.成果品等>6)広報用の動画	「ドラフト・ファイナルレポート(プレゼンテーション資料を含む。)案を作成し、」とあるが、このプレゼンテーション資料には、「プレゼンテーション用の動画」が含まれているか。含まれる場合は、その場合、「広報用動画」はファイナルレポートと同時期の提出となっているが、「広報用の動画(ドラフト)」をドラフト・ファイナルレポートと同時期の成果品として追加してよいか。	ドラフト・ファイナル・レポートに「プレゼンテーション用の動画のドラフト」を追加します。「プレゼンテーション用の動画のドラフト」の提出時期はドラフト・ファイナル・レポートの提出時期と同じく、調査開始8か月後とします。
6	第2>7.業務の内容>【フェーズII】>(11)ベトナム国内法で求められる報告書類の作成	「Investment Project Report および Environment Impact Assessment Report を、本調査の結果に基づき、現地再委託を通じて作成を支援する」とあるが、(9)には「IEEレベルの環境社会配慮調査を行う」とある。EIAとIEEレベルの報告書のどちらが求められているのか。	ここでの「Environment Impact Assessment Report」は「ベトナムの国内法によって求められる Environment Impact Assessment Report」である。本調査で求めるのはIEEレベルの報告書である。IEEレベルの報告書の内容を踏まえて、「ベトナムの国内法によって求められる Environment Impact

			Assessment Report」の作成を支援するとご理解ください。
7	第3>5.現地再委託>(1)現地再委託項目及び(2)現地再委託のスコープ	(1)にある交通量調査が(2)には明示されていない。「現況調査」と「交通量調査」を別の再委託調査と考えてよいか。	「現況調査」および「フィーダーバス利用者調査」で概ねの状況が把握できるため、(1)にある「交通量調査」は削除する。必要と思われる場合は追加をご提案下さい。
8	第3>5.現地再委託>(1)現地再委託項目及び(2)現地再委託のスコープ	(1)には「環境調査」と「環境調査(ベースライン調査)」の2つが示されているが、(2)では「環境調査」の1つとなっている。「環境調査(ベースライン調査)及び IEE レベルの環境社会配慮調査の実施支援」、の2つの再委託調査と理解してよいか。	(1)にある「環境調査」を削除します。 (2)にある「環境調査」は「環境調査(ベースライン調査)」と修正します。

以上